

<参考資料>

1. 研究開発事業

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
平成 30 年度「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」実用化開発フェーズ

※ 日本における省エネルギー型経済社会の構築および産業競争力の強化に寄与することを目的とし、省エネルギー効果が高い技術開発を対象として助成する事業

研究テーマ : 「自動車搭載炭素繊維複合材料用高速硬化プリプレグの実用化開発」
実施体制 : DIC 株式会社、セーレン株式会社、県工業技術センター
実施期間 : 平成 30 年 7 月～令和 3 年 6 月（3 ヶ年）

2. 熱硬化性炭素繊維強化プリプレグシートについて

熱硬化性炭素繊維強化プリプレグシートとは、熱をかけると固まる樹脂を炭素繊維の束に染み込ませたシート状の中間基材です。軽量かつ高強度であることから、低燃費・軽量化のニーズが高まる航空機や自動車向けに需要が拡大しています。しかしながら、炭素繊維材料の成形・加工には時間を要するため、さらなる普及や低コスト化のためには、成形時間を短縮する技術開発が求められています。

3. 本開発について

本開発では、以下のように各社・機関が持つ技術・ノウハウを結集して、新たな炭素繊維プリプレグシートの設計・開発に取り組みました。

D I C : 高分子設計テクノロジーを活かした短時間で固まる樹脂の設計・製造技術
セーレン: 樹脂成膜・塗工技術を活かした高精度含浸技術
県工業技術センター: 特許を保有する繊維束を高速に薄く広げる空気開繊技術

4. 説明会について

3 年間、実用化開発を行い開発した「速硬化炭素繊維強化プリプレグシート」の説明と加工機（見学を含む）の説明を合同で行います。